

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)白鷺駅前北街区計画 新築工事(Ⅱ工区・D棟)	階数	地上15F
建設地	大阪府堺市北区金岡町1423番3、1423番14、1423番15、143	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,028 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2016年3月1日
敷地面積	4,391 m ²	作成者	(株)長谷エコーレーション大阪エンジニアリング事業部 井上
建築面積	1,882 m ²	確認日	2016年3月3日
延床面積	21,297 m ²	確認者	(株)長谷エコーレーション 大阪エンジニアリング事業部 平位



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7 ★★★★★★☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★★★★★☆☆</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 4 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 2 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 一団地総合設計制度を活用し、大規模な敷地の北側と東側に広場を設け緑豊かな景観作りに配慮した。</p>		<p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 住戸内装にほぼ全面的にF★★★★を採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 劣化対策等級3等、耐久性の優れた建材を利用している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 歩道上公開空地を設け、沿道を緑化し、街並みに対する配慮を行った。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 一次エネルギー消費率が9.0%以下としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 有害物質を極力用いない計画としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 自転車置場を200%確保している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)白鷺駅前北街区計画 新築工事(D棟)	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区金岡町1423番3、1423番14、1423番15、1438番4	1.7	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 21,297.18 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	★★★★★
省エネ対策	3	★★★☆☆
みどり・ヒートアイランド対策	2	★★☆☆☆
安全快適な暮らし	4	★★★★☆

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.7	5
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		2.2	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	